

衆院比例定数80削減

「身を切る」は大ウソ、切るのは民意

野田首相は「国民に消費税増税をお願いする以上、国会議員も身を切らなければならない」と言っていて、衆議院比例定数を80議席削減する法案を国会に出そうとしています。

小政党は議席が半減する

比例定数の削減で打撃を受けるのは、小選挙区に議席を持たない政党です。公明・共産・社民などはいずれも、少ない議席がさらに半減すると予想されています。これに対して、民主・自民は議員の多くが小選挙区選出ですから、比例定数削減の影響はわずかです。それどころか小政党の議員が減った分、大政党の議席占有率が上がります。

比例削減の後に改憲がやって来る

比例削減で政党の議席占有率が国民の支持率と大きくかけ離れてしまい、消費税増税・TPP・原発に反対する声や普天間基地撤去の叫びなど、切実な民意が国政に届きにくくなります。二大政党による国民不在の政治が、いっそう横行することになるでしょう。

最も重大なことは、比例定数削減の後に憲法改悪の環境が整うと、改憲派が期待していることです。国会の中でただ2党、改憲反対を鮮明にしている共産・社民の議席が半減すれば、改憲派にと

って待望のチャンスに違いありません。

政党助成金の削減をなぜしない？

国会議員を80人減らすことで浮く経費は年に約50億円ですが、年間320億円に及ぶ政党助成金を切る話は、共産党以外の党から出ていません。まじめに「身を切る」と言うのであれば、まず政党助成金を返上するのがスジではないでしょうか。

1月の署名行動

【カッコは前月】

	行動回数	署名数	累計数
高蔵寺駅頭	13 (12)	20 (25)	7,711
スーパー前	4 (2)	14 (8)	2,334
その他	1 (1)	30 (11)	1,547
合計	18 (15)	64 (44)	11,592

1月の署名数は、12月を大幅に上回りました。9日に清水屋前で行われた憲法連絡会の共同行動で、革新懇集約分の署名数が30人と多かったためです(上表の「その他」欄)。1回の行動で30人台の署名数は、2010年5月以来のことです。それに対し、高蔵寺駅頭での署名数は1回3人以下と低調です。カンパは、高蔵寺駅頭で4人から900円が寄せられました。

なお「原発からの撤退」署名が高蔵寺駅頭で27人あり、昨年8月以来の累計は181人となりました。

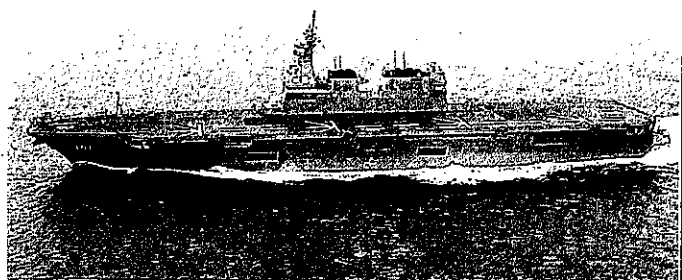
2012年度政府予算案

4隻目のへり空母を建造

昨年末編成された予算案の中に、へり空母建造費1155億円が計上されています。海上自衛隊の4隻目のへり空母として計画されているもので、排水量19,500ト、全長248m、最大積載機数14機という大型艦です。

専守防衛には無用の長物で、このようなムダを許して増税はあり得ないでしょう。

そして何よりも、近隣諸国の不信を招き、平和と友好に障害をもたらすおそれがあります。



↑現在就役しているへり空母「ひゅうが」。新しい空母は、排水量でこの約1.4倍、全長で約1.3倍の大きさです。